

# 10代のための本棚

ていんず情報誌  
VOL. 3

墨田区立図書館

2013年4月発行



## 聞く力-心をひらく35のヒント-

阿川佐和子/著 文藝春秋 2012

頑固オヤジから普通の小学生まで、つい本音を語ってしまうのはなぜ? インタビューが苦手だった阿川佐和子が、1000人ちかい出会い、30回以上のお見合いで掴んだコミュニケーション術を披露。



## ふたりの微積分-数学をめぐる文通からぼくが人生について学んだこと-

スティーヴン・ストロガッツ/著 南條郁子/訳 岩波書店 2012

高校の数学の授業で出会った生徒と教師が、30年ものあいだつづけてきた文通。手紙に書くのは微積分の話ばかり。ふたりにとって変わったものと変わらなかったものとは?



## あと少し、もう少し

瀬尾まいこ/著 新潮社 2012

ゴールまであと少し。寄せ集めメンバーと頼りない先生の手で、最後の駅伝にのぞむ中学生たちの夏を描く青春小説。



## 僕たちの前途

古市憲寿/著 講談社 2012

20代の著者が、今後の若者の生き方、働き方について、多くの人にインタビューしながら考えていきます。IT透明な時代、僕たちは何を頼りに生きていけばいいのでしょうか。



## ビギナーズ哲学

テイブ・ロビンソン/著 鬼澤忍/訳

筑摩書房 2012

「われ思う、ゆえにわれあり」と言ったのはデカルト。わかりやすい言葉とイラストで書かれています。さあ、哲学のとびらを開いてみよう!



## 夢をかなえる一思いを凶現させるための64のアプローチ

澤穂希/著 徳間書店 2011

夢に近づくための心のあり方やヒントが込められています。きっと読む人の背中を押してくれるはず。



## 山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた

山中伸弥/著 緑慎也/著 講談社 2012

「科学は驚きに満ちている、人生も同じ」、というノーベル医学・生理学賞受賞者、山中教授の自伝。



## 霧の王

ズザンネ・ゲルドム/著 遠山明子/訳

東京創元社 2012

広大な館で下働きをするサリー。侍従が開く晩餐会で給仕をするが、目の前で次々とプレーヤーが殺される事態に。混乱するサリーに追い討ちをかけるように、奇妙な出来事が起こり始めて...

## 「著作権」って何だろう?



作文したり絵を描いたり作曲したり...、楽しいですよね。こうして完成した創作物を「著作物」と言います。そして「著作物」には、自動的に「著作権」が発生します(特許のように申請する必要はなく、自動的に発生します!)

例えば、Tが絵を描きました。この絵の著作権者(著作への権利を持つ人)は自動的にTです。ですので、この絵を見たSが「上手いなあ、この絵を使ってポスターを作ろうかな」と思ったとき、Tに断りなく勝手にこの絵を使ったら、著作権の侵害となり、罪になります。なぜでしょうか?

この絵は、Tが苦勞して描いたものです。もしかしたら徹夜で完成させた力作かもしれません。それをSが勝手に使ったら、何も知らない皆さんは「へー、Sって絵が上手いんだ、すごい」と勘違いしてしまいます。これではTが可哀想だと思いませんか?!><

このように頑張った創作の努力と価値を守るために、著作権は存在しています。著作権には長い歴史があります。昔から盗作の問題はあったんですね。そこで、作品を作った人がちゃんと評価されるよう、著作権法という法律が整備されてきました。世の中の凶態にあわせて、著作権法はたびたび改正されたりもしています。

最近では、ネット上の著作権が話題になっていますね。2012年には違法ダウンロードの刑事罰化もはじまりました。ここでも基本は、上で述べたとおり「頑張って作品を作った人を、正当に評価し作品を保護しよう。安易にパクることは、ネット上であっても許されないよね」ってことです。

どうでしょうか。「うんうんそのとおりだ」「ちょっときびしいんじゃない?」等、いろいろな意見があると思います。著作権は、法律の中でも身近で、意外と人気があるテーマです。興味を持った人は、ぜひ図書館で調べてみてくださいね!

# 図書館物語

(第3話)

“ひきふね図書館”がいよいよオープン!!

新学期が始まって、TとSはどうしてるのだろうか? うわさのティーンズルームを覗いてみると...な、な、なんと!!! Sの姿があった。

S「へえ、ここがティーンズルームかあ」

すっかり図書館好きになったSは、Tを誘う前に下見に来てたのだった。そこに、謎かが...

T「ふう〜ん、これがティーンズルーム! なかなか、いいね!」

T・S「あれ?? どうしたの??」

お互いに気が付いた二人。その手に、ティーンズルームのオープンチラシを持っていた。

S「今度、一緒に来ようと思ってさ。ここで本読んだり、調べ物できそうだし...」

T「なんだあ、おんなじこと考えてたね。(笑)」

ということで、せっかく来たんだから、ほかのフロアにも行こうということになった。

今日が、二人にとってのひきふね図書館デビューになったんだ(^ ^)v

ひきふね図書館についてはHPを見てね!

# PAIONEER

パイオニア

先駆者、開拓者

新しい世界を開いて探検する人、時代をリードし、そしてイニシアティブをとる人たち...彼らのはじめの一歩が、未知への道を切り開いてきました。世界にも日本にも、そして我が墨田のパイオニアたち。その姿を追ってみました。

★『図説伊能忠敬の地図をよむ』 改訂増補版

渡辺一郎/著 鈴木純子/著 河出書房新社

☆『小澤征爾さんと、音楽について話をする』

小澤征爾/著 村上春樹/著 新潮社

★『モノづくり原論-君の心を熱くする24の物語-』

常盤文克・他/著 東洋経済新報社

☆『634の魂-東京スカイツリー公認 The Parts of TOKYO SKY TREE-』

磯達雄/著 徳間書店

★『夢は必ずかなう-物語素顔のビル・ゲイツ-』

小出重幸/著 中央公論新社

☆『アポロ11号-月面着陸から現代へ-』

ピアーズ・ピソニー/著 河出書房新社

★『海のグレートジャーニー』 関野吉晴/著 クレヴィス

☆『野茂英雄-日米の野球をどう変えたか』

ロバート・ホワイティング/著 PHP 研究所

★『ココ・シャネルという生き方-なぜ、彼女はウエディングドレスを拒んだのか?-』 山口路子/著 新人物往来社

# なるには小説



“職業選択の自由”って聞いたことある?

日本国憲法で定められているんだよね。わたしたちは職業に就くことに、誰からも制約を受けることなく、仕事を選ぶことができるんだ。まだ就職なんて先のことで考えたことない? ...でも近い将来のこと。だったら、小説の中でいるんな仕事を体験してみない?

【消防士】	消防女子!!-女性消防士・高柳蘭の誕生-	佐藤青南著/宝島社
【林業】	かむさり 神去なあなあ日常	三浦しをん/徳間書店
【教師】	5年3組リョウタ組	石田衣良/角川書店
【定食屋】	まぐだら屋のマリア	原田マハ/幻冬舎
【水族館】	アクアリウムによこそ	木宮条太郎/図業之日本社
【郵便配達】	みつばの郵便屋さん	小野寺史宜/ポプラ社
【県庁職員】	県庁の星	桂望/小学館
【書店員】	書店ガール	碧野圭/PHP文芸文庫
【広告会社】	オロロ畑でつまかえて	荻原浩/集英社
【ものづくり】	下町ロケット	池井戸潤/小学館
【旅行会社】	あぼやん	新野剛志/文藝春秋
【デザイン】	凸凹デイズ	山本幸久/文藝春秋
【OL】	ガール	奥田英朗/講談社

# ていんず堂OPEN!

4月に開館したひきふね図書館にできたティーンズルーム。

入って正面にいていんず堂というコーナーがあります。

ここでは、毎月テーマを決めておすすめの本を紹介したり、新着図書を並べたりする予定です。

ティーンズルームに来た際はぜひ棚をのぞいてみてください!

(ティーンズルームのちらしも置いています。おすすめ本を紹介できるので、ティーンズルームに来てチェックしてみてくださいね!)



担当者のつぶやき

Y.S: ぶらりと来てね。

N.Y: 気軽に遊びに来てね!

R.K: 好きな本が見つかるといいな。

Y.H: 新しい図書館でお気に入りの本をみつけてね!

S.K: 隠れ家ってカンジ!

4月からティーンズページが開設されました!

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

# すみだが一番！

-SUMIDAGAKU 3-

2013年4月1日、京成曳舟駅前に、墨田の新しい図書館“ひきふね図書館”がオープンしました。もう行った人もいないのでしょうか？ところで、今回の「すみだが一番！」は、“ひきふね図書館”のすぐ近くにある京島一丁目のスクランブル交差点です。

「何が一番なんだ？」って声が聞こえてきそうですね。

スクランブル交差点で一番有名なのは渋谷駅前の大きな交差点ですが、東京で最初につくられたスクランブル交差点の1つが、実は墨田区の京島一丁目交差点です。昭和46（1971）年4月5日、墨田区はじめ都内5カ所でこの方式が導入され「スクール・スクランブル（交差点自由通行）」という名前と呼ばれました。

## スクランブル交差点 いまむかし

<都内初のスクランブル交差点 5カ所>

- ・世田谷区八幡山小学校入口交差点
- ・大田区入新井第一小学校前交差点
- ・調布市上布田貼付第一小通学横断路
- ・墨田区京島一丁目曳舟小通学路交差点
- ・練馬区北町二丁目北町小通学路交差点



2012年12月現在

中央奥の高層ビル2階から5階がひきふね図書館です。



車を一時全面ストップ、歩行者はどの方向へも横断自由という「スクランブル交差点」が、区内京島一丁目の押上通りにお目見え。いわば歩行者横断天国のこの交差点も、ルールに従って渡ることが大切。普通の信号でなく歩行者専用が甍になったらどうぞ。

（墨田区のお知らせ 昭和46年4月15日号より）

その当時、スクランブル交差点は、全国6市11カ所で行われていました。

ただ、東京の場合、交通量が多すぎて、スクランブルを行うと、車の流れが大幅に妨げられるということで実施されていませんでした。けれども、学校の周辺などで交通量が少ない交差点ではスクランブルを行ったほうがよいということになったのだそうです。ちなみに、日本最初のスクランブル交差点は熊本市の子飼交差点で、1969年3月5日に誕生したそうです。

## Teen's Voice

アンケートへのご協力ありがとうございます。2012年5月発行の№1にたくさんのTeen's Voiceをいただきました。ほんの一部ですが、紹介します。

確かに大人扱いされなかったり、子供っぽい気持ちになったりすることが多くても、なかなか子供（小さい子の）本とかは手が出しにくかったの。そういうコーナーがあるのがうれしいなと思いました。

ミステリー小説が大好きなんで、ミステリー小説がたくさんあるといいな～と思いました。

もっとスリルがある本はありますか？

- ・1人1人本を読むスペースがほしい。
- ・マンガをできるだけいっぱい入れてほしい。

図書館に『けいたい小説』をもっとたくさん置いてほしいと思う。いいコーナーだと思う。辞書もあれば助かる。図書館にソファがあればゆったりできると思う。

『10代のための本棚』をみて、いろんな本があるんだなあ～と思った。図書館物語や地図もあり、分かりやすくおもしろかった。

図書館物語がよくわからない。

読みましたがほとんど意味がわかりません。でも、本の種類が多いのはよいと思います。

私は本が好きなので、いっぱい読みたいと思いますが、行くひまがありません。なので、要点をしぼって行けるように、もっとたくさんの本を紹介してほしいです。できれば毎月くばってほしいです。

部活の物語の本がたくさんあって、とても読みたくなりました。あと、震災の本もたくさんあって、物語だけでなく、今の日本を読んでも勉強だと思いました。